

# 秋の味覚「庄内柿」のご案内



いつも私共の農産物や加工品をご利用頂き誠にありがとうございます。

今年は鳥海山の残雪が多く、初雪までの期間を考えるとの万年雪のなりそうな気配です。それだけ今年の夏は気温が低かった、または暖かい雨が少なかったのではないかと思います。稲の生育も遅れ気味でしたが、柿の生育は思ったより影響が少ない模様で、5月から6月にかけては気温が低く、不順な天候でしたが、幸い7月が空梅雨で気温が高く、生理落果がほとんどなく着果数は平年並みを確保しています。また目立った病虫害被害もなく、品質の良い柿が収穫できるのではないかと期待しているところです。

最近柿の下草の処理に除草剤を使う農家が多くなり、機械で年4回の下草刈りは珍しくなりました。なかなか骨の折れる作業ですが、今年あたり除草剤を使い続けた園地とそうでない園地を比較すると明らかに柿の生育が違って見えます。除草剤を使っている園地の柿は葉が小さく乾いているように見え、一方苦労して草刈りをしている園地の柿は葉が大きく艶があるように見えます。(個人的感想です)

柿は他の果樹と違い比較的根が浅く、除草剤や肥料などの影響を受けやすいのではないかと思います。それだけ土つくりの効果も現れ易いといえるでしょう。化学肥料に頼らず、有機質肥料のみで栽培してすでに30年近く経過していますが、減農薬で毎年甘くておいしい柿が収穫できるのはやはり土つくりの成果と言えるでしょう。これからも気を抜かず管理をして、おいしい柿をお届けできるようにしたいと思います。

今年も庄内柿をよろしく願いいたします。

栽培方法

化学肥料：不使用

化学合成農薬：地域慣行栽培の5割以上削減

2017年10月28日

農事組合法人 庄内協同ファーム  
庄内柿生産者 柿部会長 志藤 正一